



家族の変化は遺産についての意識も変えた。財産のうち不動産が占める割合は大きい。その反面「子どもが跡を継ぎことや親が住んでいた家を守る」という意識は薄くなっている」と福岡相続サポートセンターの伊瀬知会長は力を込める。

「無料セミナーで相続の知識を広める」

気持ちを遺す相続

福岡相続サポートセンター
(福岡市中央区)の伊瀬知会長は

「仕事がデキないと「幸せ感」「私はイケる!」と思える人は少ないはずです。だから、○悩んだ時の思考の転換方法
○仕事で人間関係を良くする方法
○「デキる人」になるために身につけておくべき事をお伝えします。

講師 高山綾子 氏

たかやまあやこ

心理カウンセラー。講演会やビジネスセミナーの講師として活躍中。高級クラブのNo.1ホステス、生命保険会社での営業トップセールスの実績を上げた後、カウンセラーへ転身。大病や離婚も経て、2児の母。これらの経験から得た知識とスキルを活かし、仕事と人生を成功に導く方法を説く。

「都市部を中心に家族の絆が薄くなっている」と分析するのは、遺品整理士認定協会(北海道千歳市の沖西祐希事務局次長)だ。同協会は孤独死や孤立死した人々の遺品を、適切に処置する「遺品整理士」制度を創設。全国で講習や資格認定を行っている。これまで認定を受けた遺品整理士は、2013年5月時点では約2000人にのぼる。

一方で「遺品は単純に処分できるわけでもない」と沖西事務局次長は強調する。遺品の処分は一般廻棄

物や産業廃棄物の収集・運搬に関わり、自治体の許可が必要な場合がある。またモノに込められた思いを適切に処理することも重要だ。そのため同協会では遺品整理のノウハウやポイントをまとめた目的もあり、遺品整理士制度を設けた。

現状では二つは「郊外より都市部での事例が多い」(沖西事務局次長)とい

樹木葬に思いを込める人が増加



時代を映す墓 太宰府メモリアルパーク

現代では家族間はどちらかといえば希薄化しているといえる。しかし、だからこそ家族を見つめ直し、絆を濃くしようとするサービスも登場している。

渡辺弘幸専務は説明する。

その人の幼少期から現在までの写真30枚程度を集め

て本人のコメントつきで紹介。音楽やテロップをつけて10分程度に編集する。

整理する機会にもなる。

個人で手軽に動画を撮影



どんなご主人でしたか?



ティーアンドイー

映像で家族の絆強く

ビューや思い出の写真を基に構成する「個人を主人公にした自分史づくり」と、ビデオ撮影サービスを始めた。本人へのインタビューで「最高の旦那さんでした」と渡辺専務は胸を張る。九

月新幹線全線開業記念「九州」を作成し、国際的な広告賞で高い評価を受け

るなど、同社の技術は折り紙付きだ。

祖父母や両親の高齢のお祝いに贈るケースを想定して差をつけた。また「どこを振り、どこをみせるかにプロの自信を込めて」と渡辺専務は胸を張る。

州新幹線全線開業記念「九州」を作成し、国際的な広告賞で高い評価を受け

増える孤立死に対応

遺品整理士認定協会

老後生き残りビジネス

超高齢社会へと突き進む日本。社会の成熟化とともに生まれる一方で、課題やニーズも生まれている。同時に歯止めがかからない少子化やライフスタイルの多様化、核家族化などが混然となっている。老年期や死後にまつわるビジネスを通して、家族や死生観はどう変化したのかを透かしてみよう。

墓地や墓石に時代に合わせた傾向がある。靈園を運営する太宰府メモリアルパーク(福岡県太宰府市)の田中紀行営業次長は「社会情勢に影響される業界」と説明する。老後の不安な生きることを第一に考えざるえない状況になれば死後のことはどうしても後回しになる。

そんな経済環境を反映して、墓は次第にコンパクト化している。現在の同園での平均サイズは3平方㍍と、25年前の5平方㍍から縮小。加えて「お金持ちだから大きな墓を選ぶわけではなくった」(田中次長)と意識も変化。またニーズも多様化し、自分の考え方を墓に反映させる傾向があるという。

余波は見える。「安くてない墓代を子どもに負担をかけないように自分の代で完結させる」という声も多

い(田中次長)と時代を映している。

ニーズが不变に思われる墓地や墓石に時代に合わせた傾向がある。靈園を運営する太宰府メモリアルパーク(福岡県太宰府市)の田中紀行営業次長は「社会情勢に影響される業界」と説明する。老後の不安な生きることを第一に考えざるえない状況になれば死後のことはどうしても後回しになる。

そんな経済環境を反映して、墓は次第にコンパクト化している。現在の同園での平均サイズは3平方㍍と、25年前の5平方㍍から縮小。加えて「お金持ちだから大きな墓を選ぶわけではなくった」(田中次長)と意識も変化。またニーズも多様化し、自分の考え方を墓に反映させる傾向があるという。

余波は見える。「安くてない墓代を子どもに負担をかけないように自分の代で完結させる」という声も多い(田中次長)と時代を映している。

その傾向は、この4月に同園で受け付けを始めた墓地や墓石に時代に合わせた傾向がある。靈園を運営する太宰府メモリアルパーク(福岡県太宰府市)の田中紀行営業次長は「社会情勢に影響される業界」と説明する。老後の不安な生きることを第一に考えざるえない状況になれば死後のことはどうしても後回しになる。

そんな経済環境を反映して、墓は次第にコンパクト化している。現在の同園での平均サイズは3平方㍍と、25年前の5平方㍍から縮小。加えて「お金持ちだから大きな墓を選ぶわけではなくった」(田中次長)と意識も変化。またニーズも多様化し、自分の考え方を墓に反映させる傾向があるという。

余波は見える。「安くてない墓代を子どもに負担をかけないように自分の代で完結させる」という声も多い(田中次長)と時代を映している。

映像で家族の絆強く

ティーアンドイー

申込番号A1

脱・ネガティブ思考術

仕事で結果を出したいあなたへ

「どうせうまくいかないだろうな」「よくよても仕方ないのは分かってるけど…」などと考えてしまう人は多いはず。スキルがあってもネガティブ思考では仕事はうまくいきません。本セミナーではネガティブ思考をポジティブな状態にする具体的方法をお伝えします。

日 時 9月4日(水) 19:00~20:30

会 場 日刊工業新聞社西部支社 4Fセミナー室
(福岡市博多区古門戸町1-1)

プロ グラム ・ネガティブ思考になる原因
・達成感・満足感を自分で生み出す方法
・ポジティブをつくり出す方法 他

受 講 料 3,150円(税込み)

申込番号A2

部下の褒め方・叱り方 組織力強化術

部下にやる気を与え、絆を深める“褒め方・叱り方”

「若年層の部下は叱るとすぐ凹む」「若いやつは何を考えてるのか分からない」こんな話をよく聞きます。組織が一丸となり、売上げを上げていくためには、指導のための「叱る」は避けて通れません。最近の若年層部下の育成のコツをお伝えします。

日 時 9月5日(木) 13:30~15:30

会 場 日刊工業新聞社西部支社 4Fセミナー室
(福岡市博多区古門戸町1-1)

プロ グラム ・部下を褒めると得られる効果、褒めない損失
・存在でなく「事を叱る方法

受 講 料 6,300円(税込み)

①氏名(フリガナ) ②住所 ③会社名 ④部署・役職 ⑤電話番号・FAX番号 ⑥メールアドレス

⑦申込番号をご記載の上、E-mail またはFAXにてお申し込みください。

●E-mail katsu@media.nikkan.co.jp ●FAX 092-271-5881

※お申し込みいただいた方には後日振込先などの詳細をご連絡いたします。

※お申し込みが最少催行人数に満たない場合は中止させていただく場合がございます。

<個人情報の取扱について>

お申し込みいただいたお客様の個人情報は、日刊工業新聞社および関連会社が適切に管理し、展示会・セミナー等の、案内をお送りするため利用させていただく場合がございます。

お問い合わせ先 日刊工業新聞社西部支社 業務部イベント担当 TEL 092-271-5715 FAX 092-271-5881 E-mail katsu@media.nikkan.co.jp

たかやまあやこ

心理カウンセラー。講演会やビジネスセミナーの講師として活躍中。高級クラブのNo.1ホステス、生命保険会社での営業トップセールスの実績を上げた後、カウンセラーへ転身。大病や離婚も経て、2児の母。これらの経験から得た知識とスキルを活かし、仕事と人生を成功に導く方法を説く。